

2025 年 5 月 4 日 午前 10 時 30 分
復活節第 3 主日 主日礼拝

司会 伊藤普史
奏楽 徳江由利

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平仮名の読み)

前奏
招きのことば ルカ 24:31-32
讃美歌 319「輝きのこの日」 一同
交読詩編 116:1-14(P.132/128)

祈り 司会者
《関東教区お祈りカレンダー》
アジア学院 東京聖書学校
(主の祈り)

讃美歌 321「しずかな喜び」 一同

聖書 旧約:列王記上 17:17-24(P.562)
新約:マタイ 12:38-42(P.23)

メッセージ『しるしを求める信仰?』
祈り 川上 盾 牧師

讃美歌 450「死に勝利された」 一同

献金 一同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(ドイツの信仰告白) 一同

頌栄 11(3)
祝禱 川上 盾 牧師
後奏
報告・紹介

＜招きのことば＞ルカ 24:31-32
一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してください」と語り合った。

《5月礼拝当番》 畠中祥世 伊藤愛子
藤生慶美 土肥清志
下境真理子 平野玲子

《今週の集会・行事》

- ◎ 本日礼拝後 5月定例役員会
- ◎ 5日(月) 10:00-14:00 教会建物写生会(ピザまじ)
- ◎ 7日(水) 10:30 & 19:30 聖研祈禱会
- ◎ 8日(木) 故・森野善右衛門さん納骨式
- ◎ 9日(金) 9:30-12:00 ピアノ調律
- ◎ 10日(土) 信州・上州 Jazz Session (終日)
(10日の会堂清掃はありません)

《次週の主日》

- ◎ CS朝礼拝 9:15
- ◎ 主日礼拝 10:30
- メッセージ『復興・回復を信じる』
- 聖書:旧約:ネヘミヤ 2:11-18(P.740)
新約:マタイ 12:38-42(P.23)
- 讃美歌 323(1,3,5), 326, 328, 24
- 交読詩編 136:1-9(P.153/149)
- 司会:深町 穰 奏楽:木戸恵美子
- *5月定例役員会
(改選役員の方も議事録承認まで陪席して下さい)

《予告》

- ◎ 婦人会例会(五ノ嵐宅) 15日(木)10:30
- ◎ 地区婦人部役員会議(原市教会) 16日(金)10:00
- ◎ パイプオルガン修理 19-20日
- ◎ 本井康博先生講演会 25日(日)13:00

《報告》

◎ 2025 年度教会定期総会

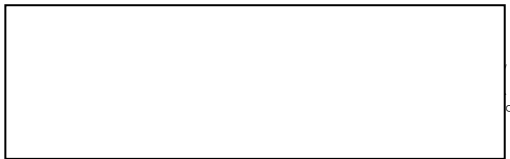
先週開催されました。旧役員:伊藤愛子さん・岩淵デボラさん・手塚福治さん・廣瀬一寛さんに代わり、新役員:伊藤普史さん・深町穰さん・徳江由利さん・植松みよさんが選出されました。旧役員の皆さん、お疲れさまでした。新役員の皆さん、よろしくお祈りします。新年度が始まります!

◎ パイプオルガン、修理をします

ふいごの皮が破れて空気が漏れていることが分かったため、5/19-20の日程で修理をすることになりました。オルガン導入後、初の大きな修理です。なお、結構な費用がかかることもあり、6/22(日)に開催予定の“牧師 Jazz”および 12/6(土)に開催予定のパイプオルガンコンサート(表見聖)は、“オルガン修復のためのチャリティ”となりました。

◎ 5月～7月の教会行事ごあんない

- 各種行事が続きます。ご予約下さい。
- *本井康博先生講演会 5/25(日)礼拝後
教会創立 140 周年に向けての学びの時です。
- *新島学園聖歌隊による音楽礼拝 6/1(日)10:30
CS合同音楽礼拝です(コーラス・ハンドベル)。
- *ペンテコステ礼拝 6/8(日)10:30
“教会の誕生日”です。聖餐式を行ないます。
- *牧師Jazz 6/22(日) 14:00 (パイプオルガン修復チャリティ)
森下滋牧師(ピアノ)&川上牧師(ヴォーカル)当日の主日礼拝は森下牧師によるメッセージ&奏楽。
- *創立 139 周年記念礼拝 7/13(日) 10:30
当教会出身・田中浩一郎牧師(秦野教会)を迎えて。



《先週の集会》

	礼拝堂	オンライン	献金
主日礼拝	61	22	38, 135
教会定期総会	43 (111名中)		

《メッセジ》「よい知らせ(福音)を伝えよう II」川上牧師
イザヤ 52:7-10, ローマ 10:8b-17(4月 27日・教会総会)
▼教会総会の日には、その年の年間聖句と年間標語によるメッセージ。今年の標語は昨年と同じである。「コロナ疲れ」が残る中で、みんなで一緒に伝道に取り組もう!という思いを込めている。▼本来私は、教会がまるで企業の営業活動のように伝道に取り組むことに対して、批判的だった。「伝道しない教会は滅びる」などと言われることがあるが、現在教勢低下の苦境を迎えている教会すべてが、伝道しなかったわけではないだろう。はたして伝道とは、滅びを免れるため、教会の維持・発展のために行なわれるものなのか。▼教勢を伸ばしている教会にしても、人を呼び込む計画を立てそれを実行すれば、人数は増え、財政も拡大するかも知れない。しかしそれは「結果」であって「目的」ではない。目的と結果を履き違えてはいけないと思うのだ。人数や財政を増やすことを目的として取り組むのは「伝道」ではなく「営業」だ。▼では伝道の目的とは何か。それはイエス・キリストの言葉や生涯と出会ったことの「喜び」を伝えることだ。伝道とは「道を伝える」と書く。イエス・キリストを信じて歩む道のり、その豊かさ・すばらしさを伝えることが「伝道」だと思うのだ。▼それは今の言葉で言えば“推し活”である。イエス・キリストによって与えられた「よい知らせ(福音)」、そのことを確認し確信するところから伝道に取り組みたい。手がかりとなる二つの言葉をメッセージとして分かち合いたい。▼一つ目は「あなたはあなたであっていい」。この世界(宇宙)の中で、あなたは他の誰も代えることのできない大切なひとりである。..「私の目にあなたは値高く、貴く、私はあなたを愛している」(イザヤ 43:4)そんな風に私たちを見つめて下さるのが、私たちの信じる神さまであり、イエス・キリストだ。▼その眼差しの下で、他人との比較や優劣で自分を考えなくていい。掛け替えのないあなたを見つめて下さる神さまに全てを委ねて生きればいい。..。その喜びこそ、私たちにとっての「よい知らせ(福音)」、それは心に温かく響くミルクのような言葉である。▼二つ目は「あなたは本当にそれでいいの?」。掛け替えのないあなたを見つめてくれるイエスは、一方で小さい人を救うために十字架への道を歩まれた方でもある。小さき一人が軽んじられ虐げられていても、つい見て見ぬふりをして通り過ぎようとしてしまう私たち。..。そんな姿に「あなたはそれでいいの?」と問いかけられるのである。▼こちらの言葉は、耳に痛い言葉、心に厳しく響く言葉である。しかし私たちの心が健康に育まれるためには必要な、苦い青汁のような言葉である。「あなたはあなたのままでいい」「でも、あなたは本当にそれでいいの?」この二つの言葉によって健全な人格が育まれる。..それが私たちに与えられた福音だ。▼来年私たちの教会は創立 140 周年を迎える。この街・この国に「よい知らせ」を伝える伝道の働きに、喜びを抱いて向かってゆこう。